環境・脱炭素への取り組みに向けた企業動向調査

E-mail：takasho@takasago-cci.or.jp、FAX：079-442-0369

にてご返送いただきますようお願いいたします。

【返送期限：２０２３年7月３１日（月）】（高砂商工会議所）

【貴社の概要・状況についてご記入ください】

（1）事業所名		
（2）ご記入者名		
（3）ご連絡先	TEL	
	E-mail	※メールアドレスもご記入ください。調査結果のご報告を含め、情報提供に活用させていただきます。
（4）業　種	１．建設業　２．製造業　３．情報通信業　４．運輸業　５．卸売業 ５．小売業　７．金融・保険業　８．不動産業　９．飲食・宿泊業 １０．医療・福祉　１１．教育・学習支援業　１２．サービス業 １３．その他（　　）	
（5）規　模	１．１～5人　２．６～２０人　３．２１～５０人 ４．５１～１００人　５．１０１～３００人　６．３０１人～ ７．従業員はいない	

Ⅰ．環境・脱炭素への取り組みについて

問１．貴社の活動において環境への取り組みを行う目的について、**該当する選択肢すべてに〇を付けてください。**

１．電気料金などコスト削減の観点から
２．自社のブランド力、認知度向上につながるから
３．新たな成長機会、商機の拡大が見込めるから
４．取引先の要請に対応せざるを得ないから
５．消費者や社会全体での環境意識の高まりへの対応
６．環境規制などコンプライアンスの観点から
７．企業の社会的責任（ＣＳＲ）の観点から
８．ＳＤＧｓ（国連の持続可能な開発目標）への対応
９．政府方針（2050年カーボンニュートラル）への対応
１０．その他（　　）

問２．経営方針・経営戦略などに環境への配慮や取り組み・目標を盛り込んでいますか。
該当する選択肢１つに〇を付けてください。

１．はい　２．盛り込むことを検討中　３．いいえ

問３．経営方針・戦略に、環境への配慮や取り組み・目標を盛り込んで取り組む上での課題や、盛り込まない理由について、**該当する選択肢すべてに〇を付けてください。**

１．本業との関連性が低い	５．社会（顧客・サプライヤーなど）の認知度や評価が低い
２．事業の利益に結びつきにくい	６．社内の知識・経験、理解・認識の不足
３．具体的な手段・施策の策定が困難	７．その他（　　）
４．定量化・経済的評価が困難	８．必要性がない

問４．環境への取り組み状況について、**該当する選択肢すべてに〇を付けてください。**

１．従業員への環境教育・研修の実施	５．食品ロスの削減 （食品加工・食品製造・売れ残り・食べ残し等）
２．商品等の流通過程における環境配慮	６．プラスチックの資源循環 （運営管理やエネルギー効率など）
３．ＩｏＴやＡＩなどの技術の導入 （使い捨て製品の使用抑制・リサイクル等）	７．その他（　　）
４．古紙（段ボール・事務文書類等）の削減・リサイクル	８．取り組んでいない

問５．脱炭素化につながる設備導入・利用状況について、**該当する選択肢すべてに〇を付けてください。**

再エネ設備及び省エネ設備等に関すること	社内での行動
１．照明のＬＥＤ化	１．空調・照明の省エネ化・節電の組織的な取り組み
２．省エネ設備・高効率機器（高効率空調、高性能ボイラ等）	２．環境に配慮した自動車運転（エコドライブ等）の徹底
３．建物の断熱化	３．環境負荷のより少ない資材等の優先購入や使用
４．次世代自動車（ＥＶ、ＦＣＶ、ＰＨＶ*）	４．社内研修などの社員教育の徹底
５．太陽光発電設備	５．その他（　　）
６．蓄電池	６．取り組んでいない
７．燃料電池設備	
８．その他（　　）	
９．取り組んでいない	

※ＥＶ：電気自動車　ＦＣＶ：燃料電池自動車　ＰＨＶ：プラグインハイブリッド自動車（ハイブリッド車は含まない）

問６．貴社のエネルギー使用量の把握状況について、**該当する選択肢１つに〇を付けてください。**

１．把握している　　２．把握していない

問７．貴社のエネルギー使用量等の削減目標の設定状況について、**該当する選択肢１つに〇を付けてください。**

１．把握している　　２．設定予定　　３．設定していない

問８．顧客・取引先から、環境負荷の軽減（ＣＯ２排出抑制など）に関する要請に変化はありましたか。
該当する選択肢１つに〇を付けてください。

１．厳しくなった　　２．特に変化はない　　３．わからない

問９．貴社では次に挙げる環境等に配慮した調達を行っていますか。
該当する選択肢すべてに〇を付けてください。

１．環境に配慮した製品やサービスの調達（グリーン購入）
２．環境に配慮した製品の原材料や資材等の調達（グリーン調達）
３．ＣＳＲ（環境・社会等）に配慮した調達（ＣＳＲ調達）
４．国産や県内産の原料・物品の選択・調達
５．グリーン電力や再生可能エネルギーの調達
６．その他（　　）
７．取り組んでいない

問１０．脱炭素に取り組む際に必要と思われる支援について、該当する選択肢すべてに〇を付けてください。

１．省エネ・脱炭素に関する基本情報の提供
２．同業者の取り組み事例の提供
３．日常的なエネルギー管理のノウハウの提供
４．相談窓口（再エネ・蓄電などの提案）
５．省エネを最適化するための講師・アドバイザー派遣
６．省エネ設備等への補助金
７．省エネ人材育成のための支援・助成
８．企業同士で情報共有・交換する場の提供
９．環境・脱炭素をテーマにしたビジネスマッチング
１０．省エネ・脱炭素に取り組む企業の表彰・認定
１１．その他（　　）